

さいたま市庁舎整備検討委員会における検討

平成20年度

<議題>

- さいたま市のまちづくり、庁舎等の基礎的調査の結果概要について

<主な意見等>

- 本庁舎の機能、規模・形態に関する意見
 - ・業務を行うだけなら今の庁舎で十分では。
 - ・現在の本庁では執務室が増えたため、会議室が不足している状況にあるのであれば、区にもっと権限を移譲すれば、本庁で会議を行う必要も減っていく。
 - ・今後、市庁舎を建てるにあたっては、立地条件の良い場所に、高層化・複合化して民間等に貸し出すなどして、タダで建てるくらいの気持ちでやるのがよい。
- その他
 - ・道州制については区割りが未確定で、現時点ではまだどうこういう段階ではないが、道州制の動向も踏まえた長期的な視点と、短期的な視点とに区分して検討していく必要があるのではないか。

平成21年度

<議題>

- 他政令指定都市における庁舎の施設概要及び近年の庁舎整備の事例、本市を取り巻く状況（地方分権）について
- 本市及び他政令指定都市における庁舎の耐震性の状況等、本市の財政状況、本市の将来推計人口について

<主な意見等>

- 全般に関する意見
 - ・市役所を整備するより、まずは区役所など地元を固めてから検討した方がよい。
 - ・将来の道州制への移行について考えるならば、中央区や大宮区、岩槻区の庁舎の建物の整備や位置などについて総合的な整備計画をつくるのが先で、その後に市庁舎整備について考える方が現実的。
 - ・道州制を見据えて、長いスパンで考える必要があり、今の時期に十分に検討・準備していく必要がある。
 - ・30年後になって、庁舎が老朽化して建替えが必要だが、財政も厳しいという事態になら

ないとも限らない。そこで、財政面の体力があるうちに建て替えるという考え方もあるだろう。

○本庁舎の機能に関する意見

- ・他自治体における庁舎整備の考え方の主なものの一つに「市民に親しまれる（市民に開かれた）施設」があるが、厳しい経済状況のなか、市民が楽しむための様々な機能を持たせて、立派な建物にするほどお金がかかってしまうのではないか。

○本庁舎の位置に関する意見

- ・本庁舎の利用は大部分が職員の会議などで、一般市民は区役所で用は足りる。本庁舎は、災害が発生した場合に最も動きやすい場所であること、職員の指揮命令が容易で、情報共有のしやすい場所ということなどから、交通の要である大宮がよいと感じる。

○その他

- ・10区に区役所があつて本庁舎に市民が来る機会は限られているし、今の財政状況も考えると、本庁舎は耐震改修の方が安価ならば、わざわざ新しい庁舎を整備する必要はないと思う。
- ・手狭といった現庁舎の問題を一時的に解決する方法として、浦和区役所や教育委員会など本庁舎から遠くてもよい部署を移してはどうか。
- ・本庁舎や区役所庁舎は、重要な公共施設であるから、耐震補強が必要ならば、なるべく早く進めるべきだ。
- ・イニシャルコスト（建築の費用）とランニングコスト（維持管理の費用）がある。例えば、耐震改修を行い、その後は維持管理をしながら利用していく場合、例えば、50年という長期間に必要とする全体の費用を考えないと、単に耐震改修や建替えなどの現在必要とする費用だけでは判断できない。

平成22年度

<議 題>

- 区役所の現状等（区役所のあり方、南区役所の動向）、本庁舎建て替えに伴う概算費用等について

<主な意見等>

○本庁舎の位置に関する意見

- ・市庁舎の場所の選定については、合併から10年近く経過し時代も変わってきているので、その点を踏まえて、どこに設置すれば一番効率的か、新しい視点で考える必要がある。

○区役所に関する意見

- ・区役所はスピーディに、やるべきことをやることが重要であり、また、市役所と市民のパイプ役でもある。真のサービスとは何かを見極め、しっかりやってもらいたい。

- ・各区が地域の独自性を出すためには、予算も含め、もう少し区長に権限を委譲するべきではないか。
- ・浦和区役所の移転についての検討はされているのか。例えば市民会館うらわを区役所として使用する等の計画はないのか。

平成23年度

<議 題>

- 防災・災害対策の拠点としての庁舎のあり方について
- 新庁舎のあり方について

<主な意見等>

- 本庁舎の機能、規模・形態に関する意見
 - ・区役所が、防災中枢拠点が被災した場合にバックアップ機能を有するように整備するとあるが、大きい方から小さい方へバックアップするのが普通で、逆は大変ではないか。
 - ・(防災対策室について) 相当堅牢な施設でないと。市内にはそういった建物は少ない。新規に造らないとならない。
 - ・今、本庁舎の中に浦和区役所が入っているが、今後、一緒のままか分離するのかどうなる予定か。
 - ・区役所の業務と本庁舎との業務を明確に分けてやれば、あちこちに庁舎がある必要がない気がする。許認可が必要ならば、立派な施設が必要かもしれないが、ただ単に区役所に指示をするだけなら、また財政的な支援をするだけならば立派な庁舎が必要なのか。
 - ・区役所は現場、本庁舎は事細かなことよりも体外的なことが主たる役割という感じがするので、本庁舎はあまり立派なものはいらないと言ったところである。予算の権限についても難しい話ではないと思うので、防災も含めて、業務の内容全体を見直し、新しい庁舎を検討して、審議会に諮ってもらいたい。
- 本庁舎の位置に関する意見
 - ・合併協定書には「新都心」の記述があるが、なかなか土地を見つけるのは大変かと思う。
 - ・問題は建てる場所である。さいたま新都心にはさいたま赤十字病院が移転してくる。三菱マテリアルには色々問題がある。早く決める必要がある。
 - ・さいたま新都心のそばに三菱マテリアルがあり、だいたい更地になっている。新庁舎の建設予定地としては新都心にも近いので、一番いいと思う。検討してもらえればと思う。
 - ・早い段階で建てる場所を決めるべきである。早く土地を取得しなければ、良い場所がなくなってしまう。市役所を建て直すのが一番経済的にも立地的にも適切と思う。
 - ・建て直すとなるとプレハブなどを建てることになると思うが、今の市役所の敷地では狭いため、かなりの経費や期間がかかり、機能が麻痺するのではないか。

○その他

- ・東京が被災したときにどういうシミュレーションを想定しているのか。その影響で埼玉県はどうか。連携をとったシミュレーションはしているのか。
- ・東日本大震災の際には庁舎から避難したということのようだが、そのような庁舎があっているのか。指揮命令がなくなったときにどう対応するのか、真剣に考えないといけない。防災の観点も大事なのではないのかという感じがする。